

戸塚 美愛子：所属部署 感染管理室

修了した特定行為

研修：2018年9月修了

栄養に係るカテーテル管理
(中心静脈カテーテル管理)
関連

・中心静脈カテーテルの抜去

栄養に係るカテーテル管理
(末梢留置型中心静脈注射
用カテーテル管理) 関連

・末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの
挿入

栄養及び水分管理に係る
薬剤投与関連

・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の
調整
・脱水症に対する輸液による補正

感染に係る薬剤投与関連

・感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的
投与



感染管理室で専従業務を担いながら、特定行為に関わらせていただいています。近頃は職員のみなさまの抗ウイルス薬予防投与で関わらせていただくことが多いです。

2018年に修了し、今の私が考える特定行為をお伝えする機会にします。

「何件実施した！」「成功した！」これも大切な成果です。しかし、これよりもどれだけ対象者のことを考えたか、対象者を取り囲む家族・職員のことも考えたかを大切にしています。

対象となる行為の‘まえ’と‘あと’も含めて自分は何をするべきか、できるか考えて実践しています。



修了者2人での実施

とはいえ、特定行為は薬剤の調節や穿刺手技など侵襲的な医療処置となります。

自己研鑽を重ね、知識・技術の維持と向上に努めていきます。

自分が特定行為を実施するメリットを出せるには、事前の説明や行為中の声かけ、行為後のフォロー（患者・職員両方）を丁寧に実施することなど、行為という点ではなく線や面で患者・職員により寄り添うことだと思います。簡単にいえば、特定行為という専門的な行為があろうとも看護師であり続けることだと思います。



事前説明,対象者の把握



行為後の管理のフォロー

基本的に、**所属部署の業務フィールド内・通常勤務時間**に特定行為研修で学んだことを活用し、特定行為実践に取り組んでいます。今後ともご支援宜しくお願い致します。特定行為研修修了看護師について、何かご質問等がありましたら、森永までご連絡ください。